



40期生進路状況

進路指導部長

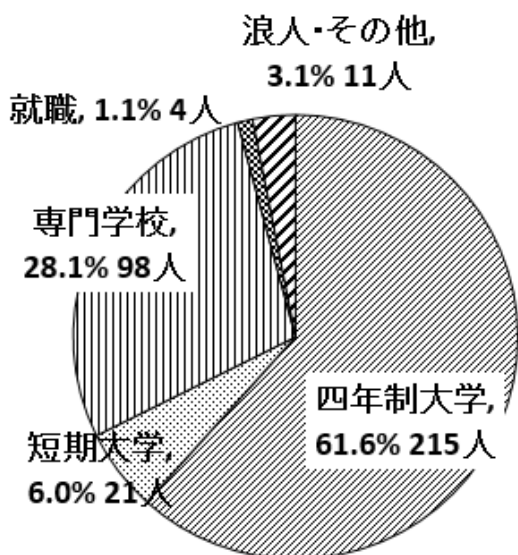
今春卒業した40期生の進学先は大学が62% (昨春68%)短大は6%(昨春5%)専門学校は28%(昨春23%)大学進学者が減少し、専門学校への進学した生徒が増加したものの大きな変化はない結果となりました。また、学校幹旋による就職を選んだ生徒は2名、公務員試験に合格した生徒は2名、そして再受験(浪人)を選んだ生徒は8名となっています。

昨年度の大学入試はコロナ禍による社会情勢の変化により予想に反するものとなりましたが40期生も引き続きコロナ禍での入試となりました。苦難の中で受験生としての早めのスタートを切り志望校に合格した生徒、最後の最後まであきらめずに一般選抜で合格を勝ち取った生徒も見受けられ、自分自身と向き合い努力し進路を決定しました。

特に前年度合格数延べ数が増加した大学は龍谷大学(13→38)、追手門学院大学(46→59)、関西外国語大学(9→21)、摂南大学(27→71)、大和大学(8→12)と増えています。また、看護・医療系の大学合格延べ人数が9→18、76と三年連続で倍増しています。グローバル専門コースからは15名が外国語大学に進学した他、語学・国際・観光・英語教育など、特に英語力に特化した進学先(大学・短大・専門学校)を選ぶ生徒も近年増加傾向にあります。

就職は今年も希望者全員が、地元の良い企業に合格することができました。3年生早々から毎週の就職講習に出席したり、公務員試験の準備を重ねたりして、自信と希望をもって社会に頼もしい一歩を踏み出しています。各種の専門学校を選んだ生徒、浪人して再度夢に向かって挑戦する道を選んだ生徒、それぞれが納得できる進路を選んでくれたことを信じて、今後の活躍を期待しています。

40期生は卒業前のアンケートで、自身の進路決定に至るプロセス(過程)に満足していると答えた生徒が8割を超えていました。毎年本校の生徒の大半が、自分の進路選択の過程に大きな満足を感じて芥川高校を巣立っていきます。40期生もまた、自分自身の努力の成果に対する誇りとともに、家族に支えられ仲間とともに試行錯誤を重ねる中で選び取ったかけがえのない進路に対する自信と希望にあふれ卒業を迎えてくれたことを本当にうれしくありがたく思います。彼らの一人ひとりが、これからも力強く歩み続けてくれることを祈念してやみません。



前期生徒会執行部が発足

特別活動指導部長

4月21日(木)前期生徒会役員選挙が行われました。動画視聴による立会演説会では、立候補者が生徒会活動への意欲や思いを訴えました。引き続き、各クラスで投票を行い、選挙管理委員による厳正な開票作業の結果、全員信任されました。生徒全員が生徒会の構成員です。みんなで新執行部を盛り上げていってほしいと思います。

前期生徒会執行部

- 会長
副会長
副会長
書記
書記
会計
会計

対面式・新入生歓迎会

特別活動指導部長

4月11日(月)体育館において2・3年生の代表者と新入生が対面式を行いました。生徒会代表から新入生へ歓迎の言葉、新入生による挨拶の後、1年各クラス代表に花束が贈られました。引き続き生徒会主催による新入生歓迎会を行いました。各部活動が作成した紹介動画を上映しました。盛りだくさんの内容で、新入生を大いに楽しませていました。



1年生 交通安全講習会

生徒指導部長

4月11日(月)1年生に生徒指導部による交通安全講習を実施しました。今回の講習では、自分の命を守ることと自分が事故にあつて周囲の人たちに悲しい思いをさせないためにも、自転車通学に関する安全の見直しをするように伝えました。特に、芥川高校周辺の危険個所の説明や、道

路交通法の改正について具体的に話を行い、生徒たちも主体的に話を聞いてくれたように思います。

今後も、生徒たちの10年後を見据えて、安全・安心な通学ができるように取り組みを行っていきたいと思います。

春の自転車交通安全指導

生徒指導部長

5月12日(木)から18日(水)の間、自転車交通安全指導を行いました。教員全員の協力のもと、高槻市立第二中学校前から名神高速道路をくぐって本校に至る道や、緑が丘公園から本校に向かう道、浦堂認定こども園前の道路に教員が立つて自転車通学する生徒に声をかけました。交通安全の意識を高め、マナーを守り、地域の方にも愛される芥川生をめざしています。



芥川高校後援会にご協力ください

後援会は、会費・寄付金・募金を集め、芥川高校の生徒のために支援してくださっています。後援会の活動にご理解とご協力をよろしく願います。

